

計画の名称	まちなかを核にネットワークでつなぐまちづくり（交通戦略）									
計画の期間	令和03年度～令和04年度（2年間）	交付対象	金沢市							
計画の目標	「歩行者と公共交通を優先するまちづくり」や「まちなかを核にネットワークでつなぐまちづくり」を基本方針に、交通ネットワークの再構築、交通機能の連携強化、交通利用環境の向上、歩行者と公共交通の優先、広域・圏域による交流の推進を図り、自動車に過度に依存しない都市の実現を目指す。									
計画の成果目標（定量的指標）										
① 市内の鉄道・バス利用者数の増加 ② まちなかにおける自動車交通分担率の減少										
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (R5当初)	中間目標値 -	最終目標値 (R9末)				
① 市内の鉄道・バス利用者数の増加				117千人/日	-	119千人/日				
② まちなかにおける自動車交通分担率の減少				45.0%	-	44.0%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	15.0	A	15.0	B	-	C	-	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	-
事後評価										
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期										
事後評価（中間評価）の実施体制							事後評価の実施時期			
金沢市社会資本総合整備計画評価委員会において、本計画に基づいて策定した第3次金沢交通戦略のフォローアップにおいて効果を確認していくこととした。							計画期間終了後 公表の方法 金沢市ホームページで公開			
1. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況										
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		掲げている定量的指標が、本計画の成果指標ではなく、本計画に基づいて策定した第3次金沢交通戦略の成果指標となってしまうため、本委員会にて議論、精査し、前計画のフォローアップや住民との意見交換、パブリックコメント、関係者間の協議などにより、ニーズに応じた新たな取組や既存の内容を拡充した交通戦略が策定されていることを、本委員会において確認した。								
II 定量的指標の達成状況	指標①（市内の鉄道・バス利用者数の増加）	最終目標値	119千人/日	目標値と実績値に差が出た要因	当該社会資本総合整備計画は、金沢市における交通まちづくりを推進するための計画である第3次金沢交通戦略の策定を目的としており、その評価については、第3次金沢交通戦略のフォローアップにおいて行っていくこととする。					
		最終実績値	-							
	指標②（まちなかにおける自動車交通分担率の減少）	最終目標値	44.0%	目標値と実績値に差が出た要因	当該社会資本総合整備計画は、金沢市における交通まちづくりを推進するための計画である第3次金沢交通戦略の策定を目的としており、その評価については、第3次金沢交通戦略のフォローアップにおいて行っていくこととする。					
		最終実績値	-							
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因						
		最終実績値								
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因						
		最終実績値								
	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因							
	最終実績値									
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)										
2. 特記事項（今後の方針等）										
今後、第3次金沢交通戦略に基づき、様々な取組を行うことにより、当該戦略に掲げた目標値を達成できるようフォローアップを行っていく。										

# 市街地整備

計画の名称	まちなかを核にネットワークでつなぐまちづくり(交通戦略)	交付対象	金沢市
計画の期間	令和3年度～4年度		

**「第2次金沢交通戦略」が目指す未来のすがた**

- まちなかを核にネットワークでつなぐまちづくり
- 歩行者と公共交通優先のまちづくり

**都市の競争力・魅力の向上を目指します**

戦略的に選んだ新しい交通システムが活し、まちなかをつなぐ。まちの魅力を高めます。

**5つの基本方針**

- 1) 交通ネットワークの再構築
- 2) 交通機能の運用強化
- 3) 交通利用環境の向上
- 4) 歩行者と公共交通の優先
- 5) 広域・圏域交通による交流の促進

**計画の推進体制**

3者の連携・協働により地域の特性に応じた移動手段を確保

市民・事業者 行政

**イメージ**

**誰もが使いやすい交通環境を目指します**

新しい交通システムやバス、鉄道の乗り換えシステムなどを活用し、わかりやすい交通案内により、公共交通がもっと使いやすくなります。

**過度に車に依存しない交通体系を目指します**

近しい交通システムを導入により、困難に陥りにくく、安心・安全な移動が可能です。

**安心して楽しく回遊できるまちなかを目指します**

歩行者が安心して回遊でき、まちなかがさらに賑わいます。

**自転車が使いやすいくなり、まちなかの移動がしやすくなります**

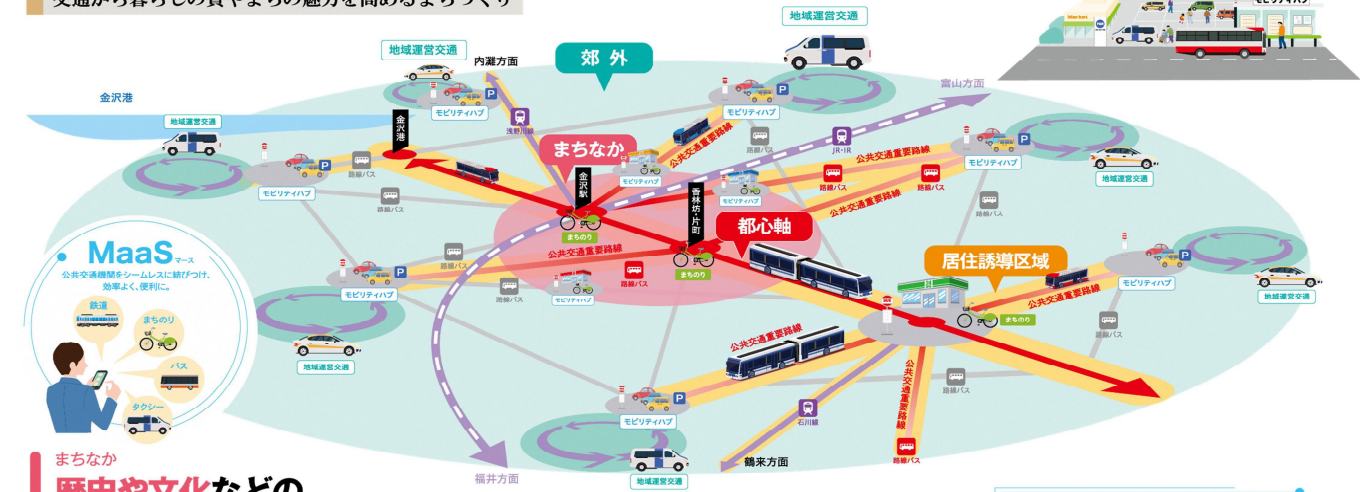
自転車利用の利便性を高め、まちなかの移動がしやすくなります。

## 第3次金沢交通戦略が目指す姿

- 【基本的な考え方】**
- 歩行者・自転車・公共交通優先のまちづくり
  - 交通から暮らしの質やまちの魅力を高めるまちづくり

## 郊外 地域の実情に合わせた柔軟な移動手段の確保

- 地域運営交通を使って、住民が地域の病院・スーパーに自家用車なくても行ける
- 地域運営交通と公共交通重要路線の鉄道・バスが、モビリティハブで接続し、まちなかにも便利に行ける
- MaaSにより乗り換えもスムーズ



## まちなか 歴史や文化などの魅力が楽しめる人中心の移動環境の充実

- トータルデザインされた新しい交通システム(第1段階)を都心軸中心に導入
- 人中心のウォークアブルな空間の整備
- 自転車走行指導帯やまちなかの充実
- 来訪者等にも分かりやすい案内や機能でラクラク移動



## 居住誘導区域 公共交通で便利に移動ができる移動環境の充実

- 専用レーンによりバスの移動をスムーズに
- モビリティハブによる交通連携
- MaaSによりスムーズにバス・まちなかなどを利用



**Mobility Hub**  
さまざまな交通手段が集約した利用拠点